

はしがき

本書は、日本企業の中国進出状況を調査したデータブックである。附録として、PDF ファイルにした本書の本編及び補篇を収録した CD-ROM を添付している。

2016-2017 年版において、調査対象とした日本企業は、日本の証券取引所で株式が売買されている上場会社である。21 世紀中国総研の調べによれば、全上場会社 3602 社のうち、中国（香港、マカオを含まず）に現地法人のほかに、日本本社直属の駐在員事務所、支店、営業所などの在中ビジネス拠点を持っている会社が 1680 社ある。中国への進出率は 46.6% といえよう。うち東証一部上場会社 1752 社に限れば、在中ビジネス拠点を持っている会社が 1142 社で、中国への進出率は 65.2% にのぼり、有力企業ほど中国へ進出する確率が高い趨勢が知れる。

本書は、これらの日本本社及びその子会社の在中現地法人 6254 社の基本データを収録している。また、現地法人のほかに、分公司など現地法人下の支社、駐在員事務所・支店・営業所などの在中ビジネス拠点が 348 あり、これらも含め 6602 拠点を収録している。

本書の来歴を述べれば、1986 年以来、蒼蒼社から刊行され続けている『中国進出企業一覧』の最新改訂版（第 21 版目）である。1999 年版（第 13 版目）までは年刊、2001-2002 年版以後は隔年刊のサイクルで、2003-2004 年版、2005-2006 年版、2007-2008 年版、2009-2010 年版、2011-2012 年版、2013-2014 年版と刊行されている。

検索ツール CD-ROM は 2005-2006 年版から添付している。中国進出企業データベースが電子ファイルにより検索可能になったことで、本書の利用価値は数段と高まったものと信ずる。こうしたパブリケーションを継続的に保証するのは、読者諸氏の知的所有権への応分の配慮であることを、この際あえて申し上げておきたい。2016-2017 年版の CD-ROM の中身は従来の ACCESS から PDF ファイルに変え、コピー・印刷できない設定にした（検索機能は十全に利用可能である）。なお、本書データの「EXCELL ファイルをリリースして欲しい」というが要望が多数寄せられているが、原則的にはリリースできないと言わざるを得ない。

在中企業法人データの収集方法は、本書 2016-2017 年版から、中国における登記簿に基本的に依拠する方式に変更した。従前の版本では、当該企業の有価証券報告書、決算書、適時開示情報等の公表資料を基に整理したデータをアンケート調査で確認していたが、これを改め、中国工商行政管理局登記データを最優先することとした次第である。この依拠基本データの変更によって、本書収録データは、内容・形式において旧版とは若干異なるものになったが、情報の正確度は各段にアップしたものと信じる。

本書の取材にご協力を賜っている各企業の中国ご担当者、及び中国ビジネス展開のために本書をご利用いただいている読者諸氏には、一層のご指導、ご鞭撻を賜るようお願い申

し上げる。データに変更、誤り、不十分な点、また新規案件、未収録、撤退・清算などの情報などがあれば、(株)蒼蒼社編集部へ、郵便、ファクシミリまたはEメールにてお知らせいただきたい。

中国進出企業データベースの構築、膨大な企業データの收拾・取材・整理・チェック・確認・再取材、そしてデスクトップによる組版、プログラミングという長期の創意に満ちた編集実務に尽力してくれた蒼蒼社編集部の労に深甚の謝意を表したい。

2016年2月1日

(株)蒼蒼社代表取締役 兼 21世紀中国総研事務局長 中村公省